

# 水道事業の「危機」はなぜ起きたか

2017年水道法「改正」・（水道広域化編）

自治労連公営企業評議会



2017年3月7日

水道法「改正」（案）閣議決定

保護育成から  
基盤強化へ

- 「改正」は水道事業の「基盤強化」を  
目的としているが・・・

公ではなく官

- その方法は「広域化」と「官民連携」を  
セットで推進するという・・・

# 水道事業は危機的状況??

退職者不補充  
新規採用抑制

●人 技術・技能が伝承されていない

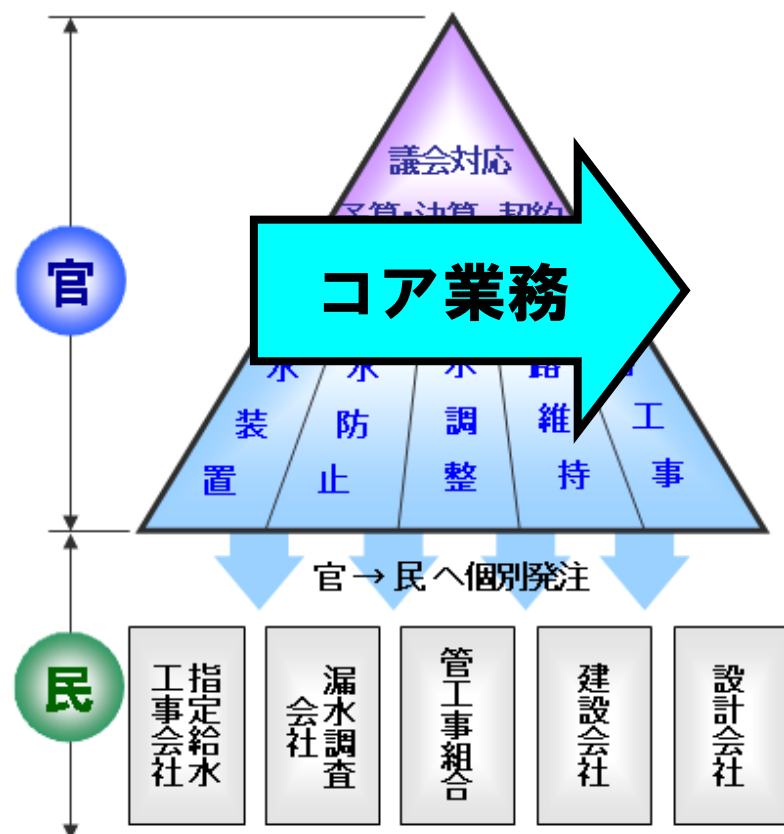
設計・監督する  
人がいない

●モノ 施設老朽化、耐震化の遅れ

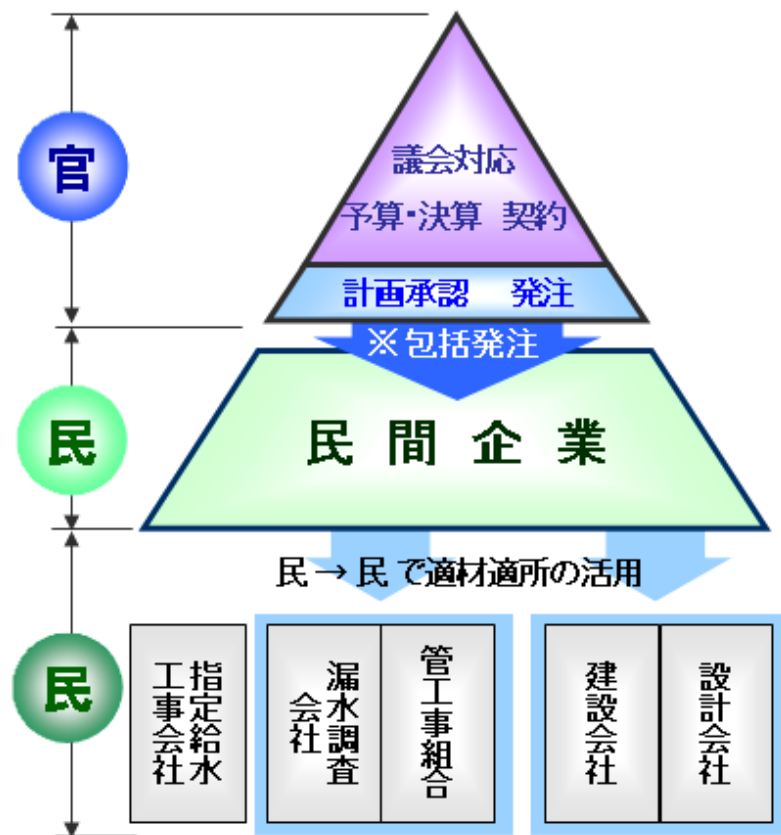
●金 水需要低下により収益が低下

国の補助  
切捨て

# 現 状



# 官民連携体制



現役の水道技術屋であり、そして技能屋



**絶滅危惧種**

現場を知っていること  
それが私の強みです



# 国が言う 広域化のメリットとは？

スケールメリットにより  
人材を確保する??

●人 技術・技能が伝承されていない

●モノ 施設老朽化、耐震化の遅れ

●金 水需要低下により収益が低下

?

?

# 小規模水道事業体から技術・技能が失われた

給水人口	事業毎の平均職員数				最多	中間値	最小	事業所数
	事務職	技術職	技能職	合計				
100万人以上	338	488	133	959	3847	2098	348	15
50万人～100万人未満	74	111	16	201	370	243	115	14
25万人～50万人未満	37	65	9	111	223	129	35	60
10万人～25万人未満	17	22	2	41	171	92	13	161
5万人～10万人未満	9	10	1	20	70	37	4	221
3万人～5万人未満	6	4	0	10	33	18	3	230
2万人～3万人未満	4	3	0	7	21	11	1	156
1万人～2万人未満	3	2	0	5	21	11	1	289
5千人～1万人未満	2	1	0	3	15	8	1	238
5千人未満	1	0	0	1	2	2	1	4

# 水道広域化の問題点①

中小規模事業者では



# 市町村合併、簡易水道事業統合により 疲弊する中小規模事業者

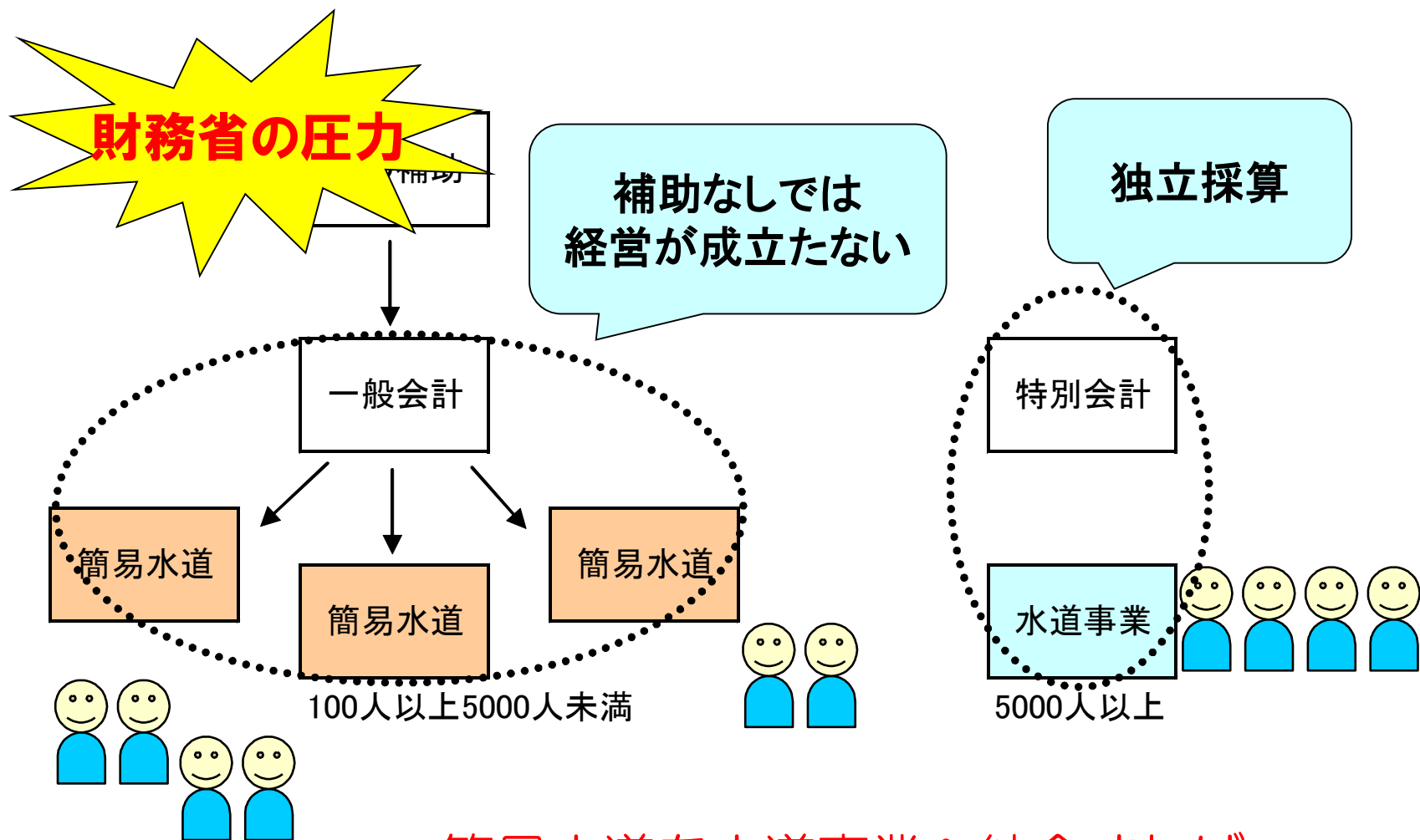
国は、1市1水道事業者とする方針により  
H28までに簡易水道を統合するよう補助金誘導した。

しかし、「不採算」な事業統合の受け皿となった  
水道事業は経営が困難となっている。

地方では  
人・モノ・金が  
より深刻

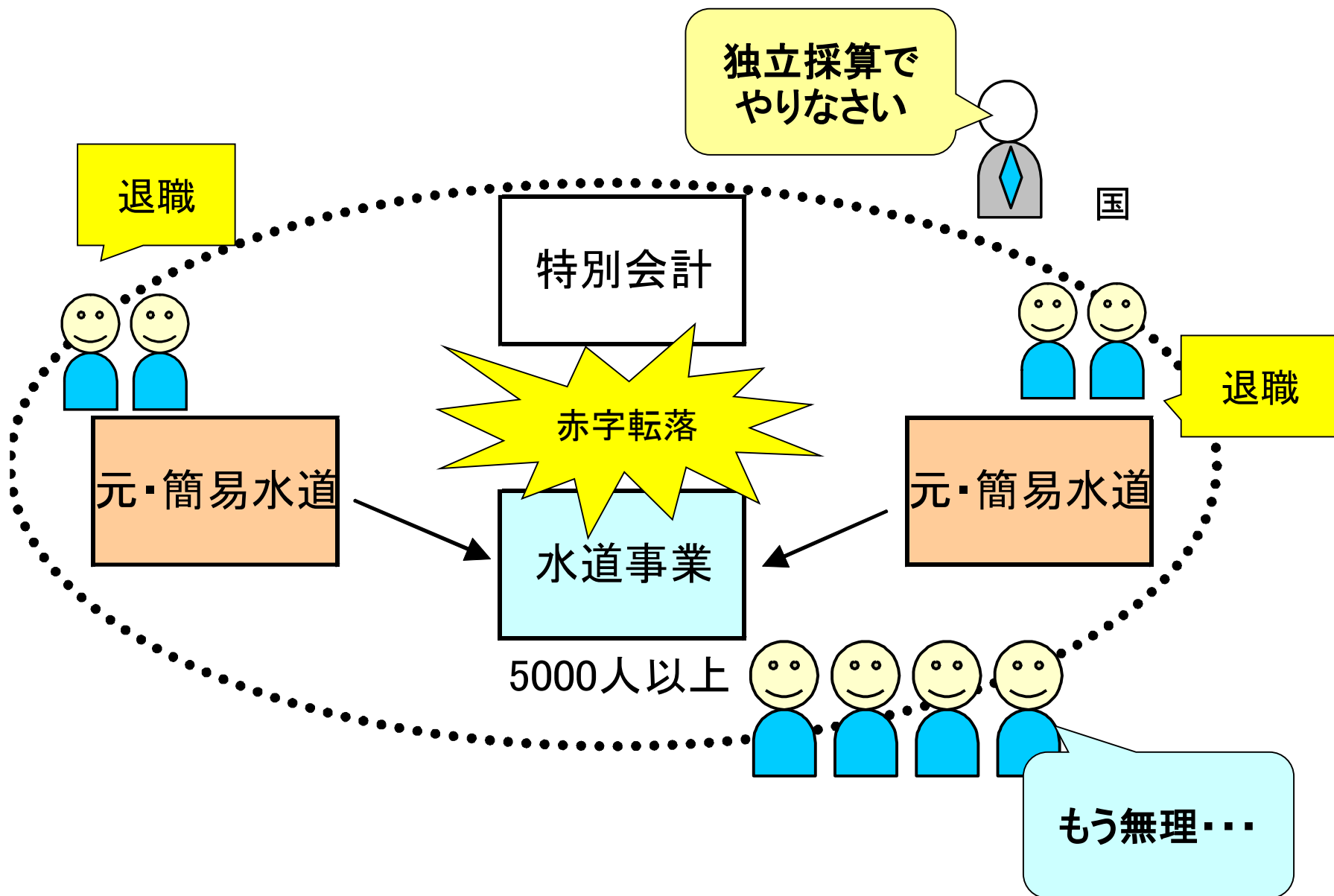
さらに広域化を  
進めると言うが...

# 簡易水道統合による疲弊



簡易水道を水道事業へ統合すれば・・・

# 人も増えない、管理範囲が広くなる、財政が悪化



# 遠い、管理が大変、採算がとれない

中山間地に  
点在する  
簡易水道施設

場所もわからない

管理する人がいない

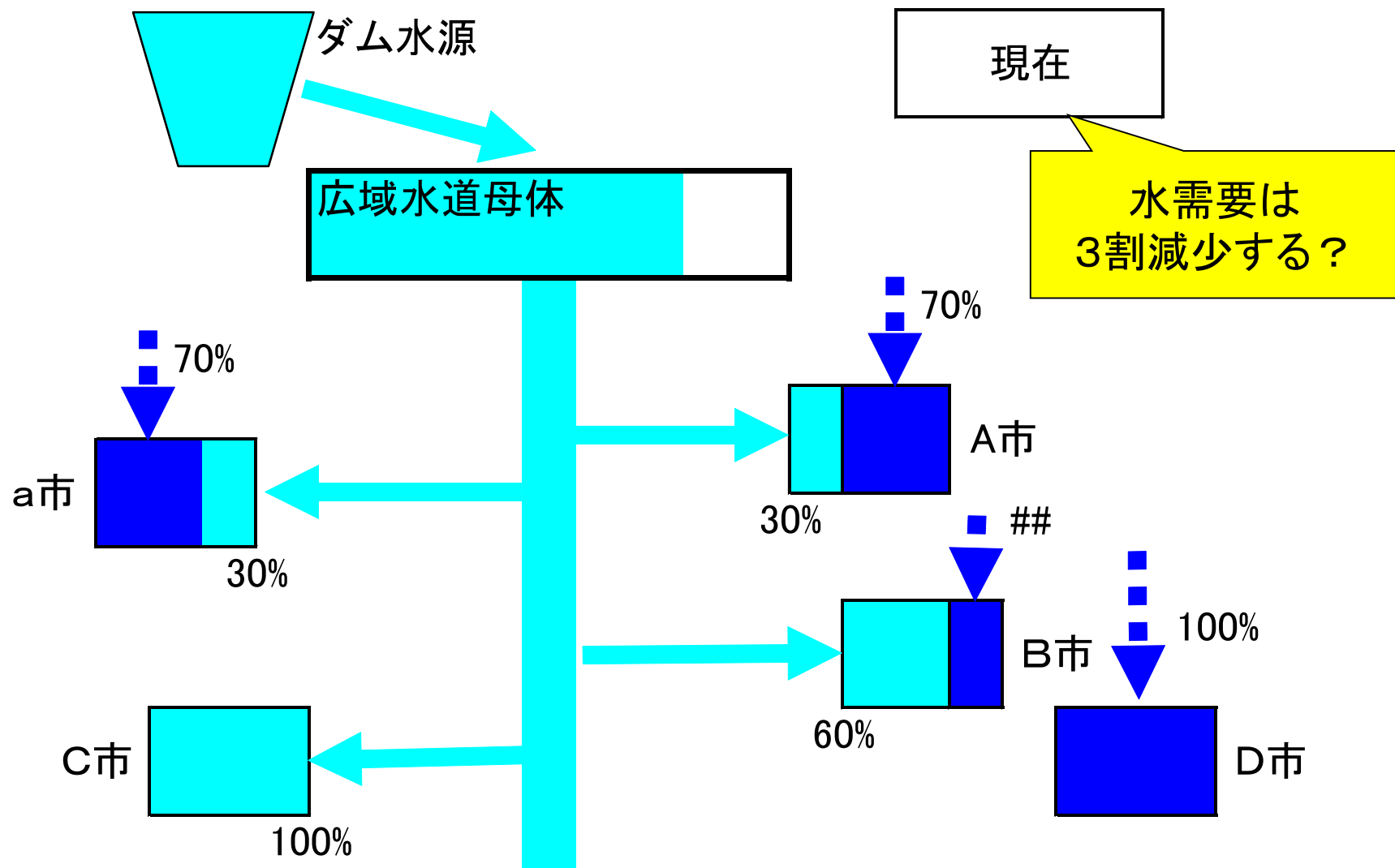


**クマがでる！**

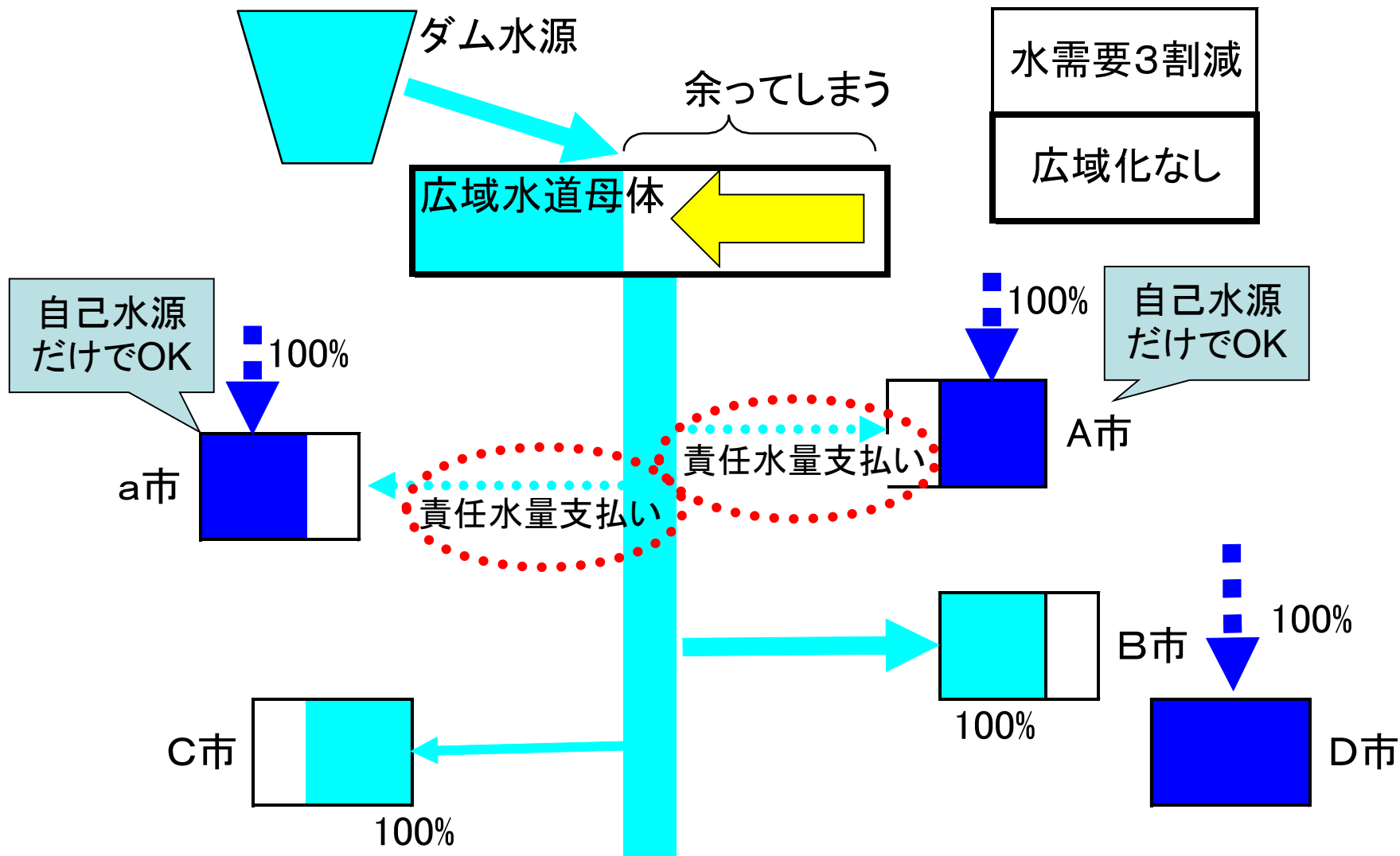
# 水道広域化の問題点②

水需要低下と水利権からみる

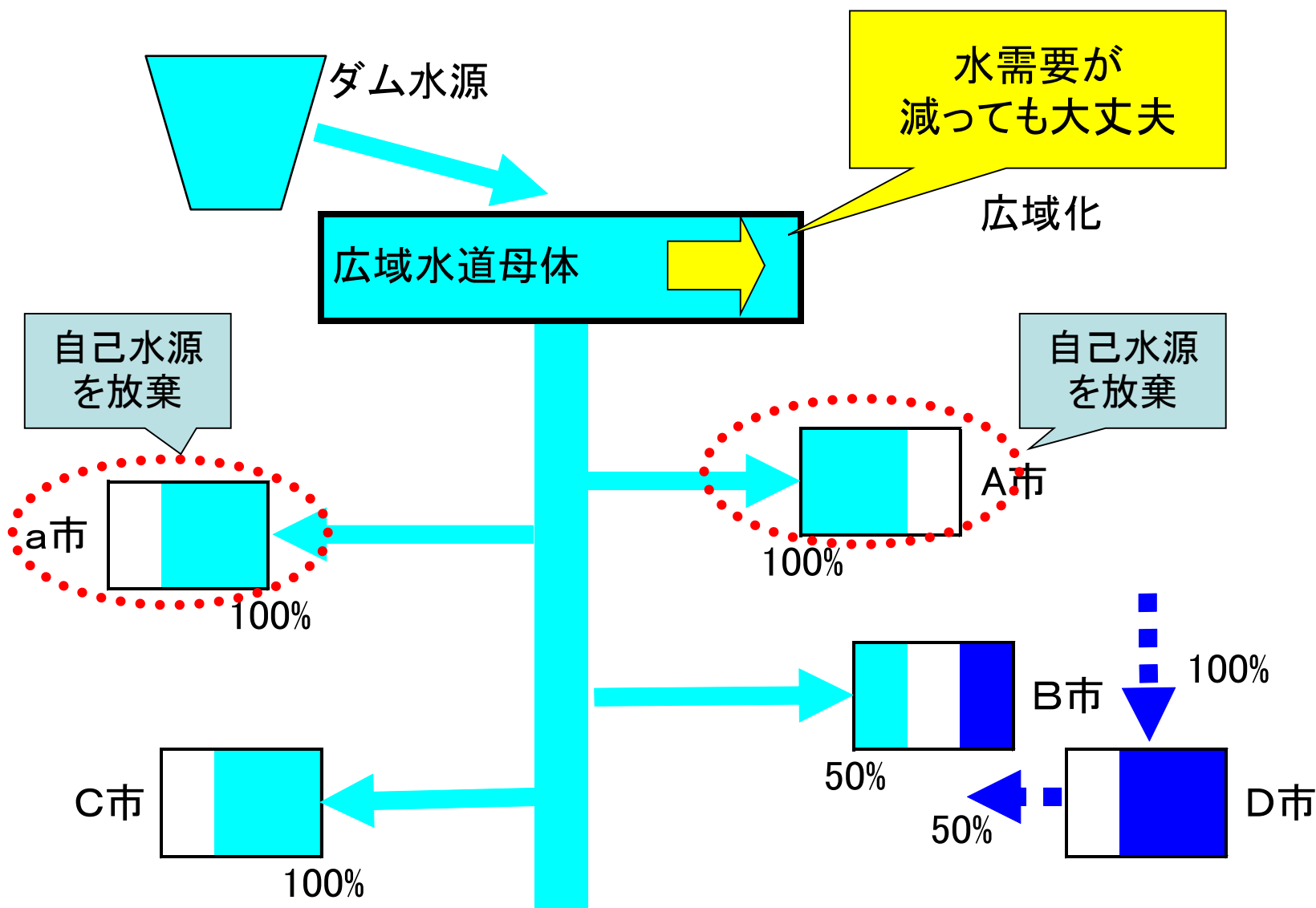
# 水需要低下ばかり強調し、「水余り」は反省なし！



# 自己水源だけでやっていけるのに...



# 自己水源を放棄して「高い」水を買うことに・・・





# 広域化計画 香川県





# 広域化計画 三重県・伊賀市

伊賀市水道事業基本計画 第3回 策定委員会



## 1. 取水・浄水施設

上野地区  
(現況)

凡例

□ 浄水場

○ 水源

伊賀広域

諏訪浄水場

地下水 縮小

小田浄水場

ダム水源 更新

ゆめが丘浄水場

上野西部浄水場

比自岐高山浄水場

地下水 廃止

猪田浄水場

地下水 廃止

丸山浄水場

地下水 廃止

川上ダムの押し付け



# 水道広域化の問題点③

広域化の後にくるもの

# 「不採算」事業の切捨て！？

市町村合併により奈良市へ統合された地域を

切り出して、コンセッションへ

広範囲の施設を管理する元・村職員

奈良市の水源地域の住民は怒る！

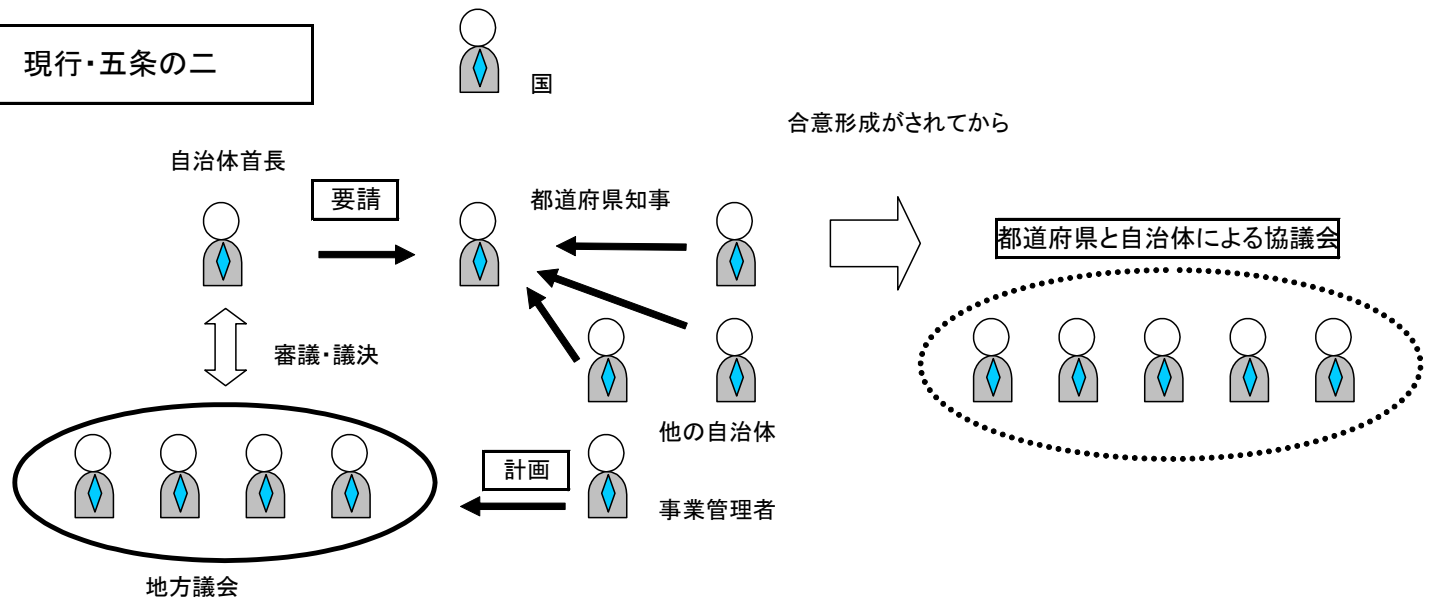
コンセッション計画  
奈良市



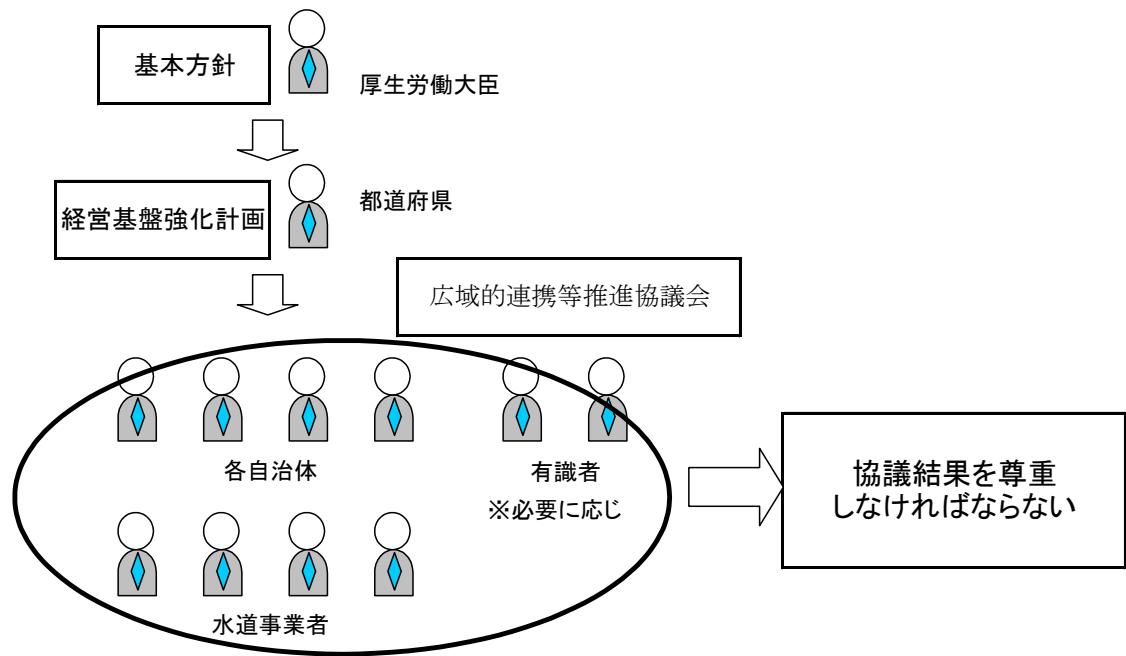




現行・五条の二



改正案

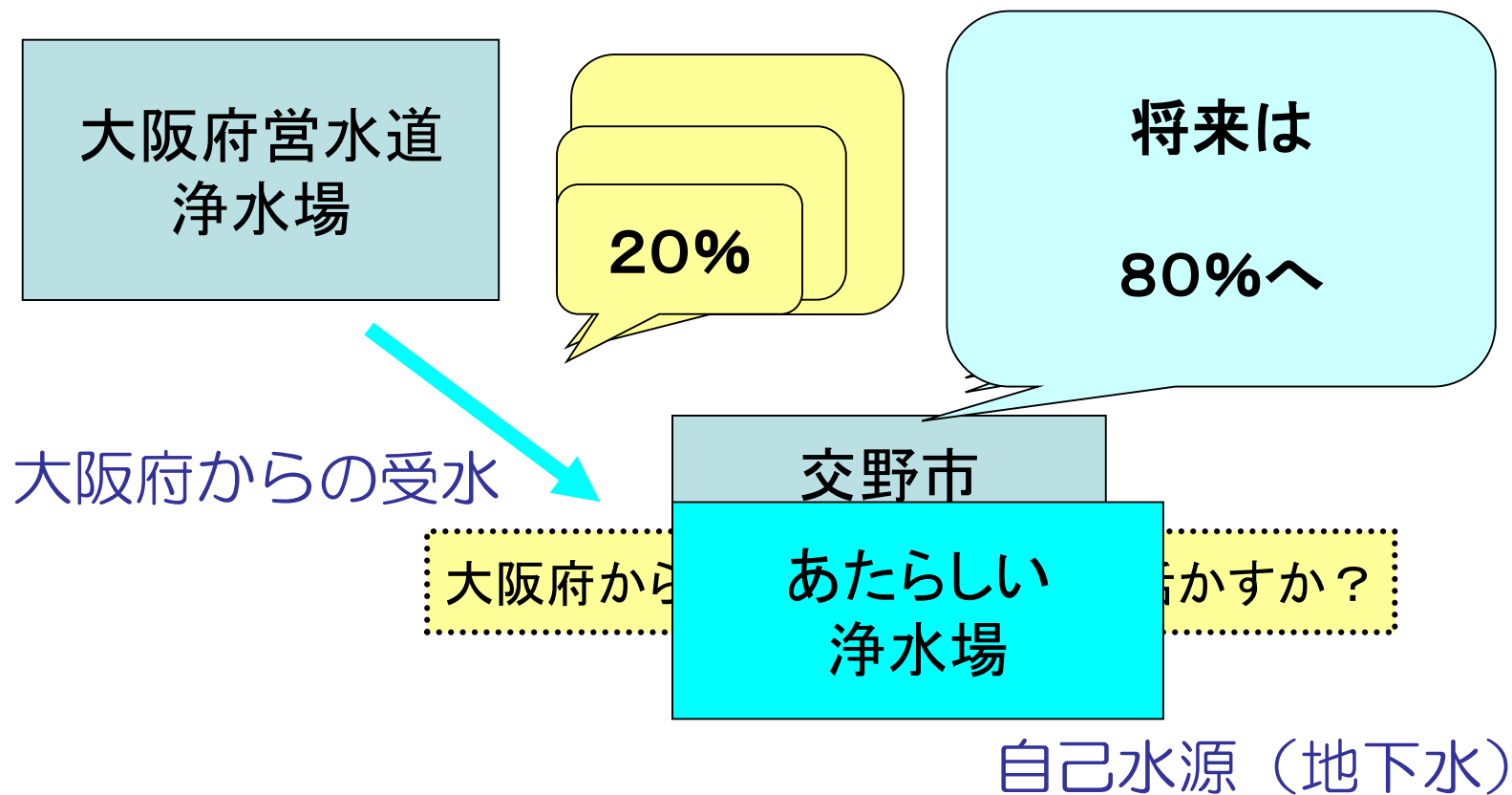


広域化ではない解決策のヒント

本当の先進事例

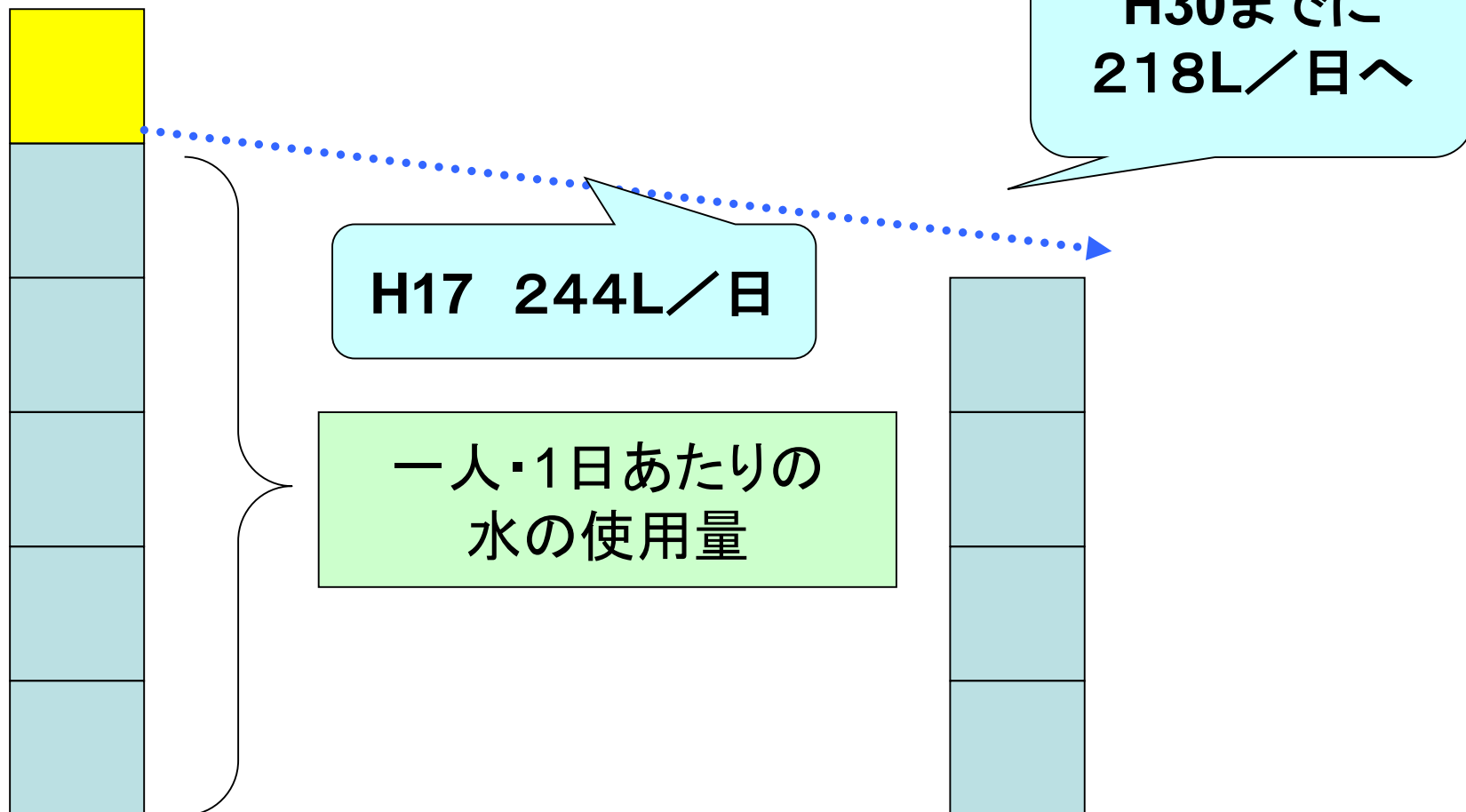


# 府営水道の受水を減らし自己水源へ



大阪府・交野市

# 水の合理的な使用



熊本市

# 良質な自己水源を放棄しての 広域化には疑問が・・・



広域化は  
健全な水循環に反している



ダム耐用年数後は  
新たな費用負担が？

●現在のダム依存度は9割

自己水源をなくして、遠くの水をポンプで・・・



長距離送水に不安はないか？  
水源を遠くに頼っていいのか？



**東日本大震災では大口径管も被災した**



災害時に気がつきます



水はいのちを支えている

## 糸魚川大火災



水が足りない  
だろうな...

水道は消防水利の役割も大きいのです！

## 水道事業の目的は

- ①憲法25条「生存権」の保障
- ②水道法はそれを具現化するもの
- ③水循環基本法の理念を活かす

健全な水循環の維持・回復  
「ダム耐用年数後」の水利権をどうするのか？

水行政の一元化  
「水基本法の理念の下に各省庁の連絡・調整を」



# ゼロエミッション小規模水道モデル・イメージ

